

令和5年度天皇杯受賞者受賞理由概要
むらづくり部門

地域課題を農業で解決！老若男女・農も福祉も、地域一丸「百姓百品」

○集団等の名称 百姓百品グループ（代表 和氣 數男）

○所在地 愛媛県西予市

○受賞理由

・地域の沿革と概要

西予市は、愛媛県の南西部に位置する。野村地区は、市東部の中山間地域で、地区全体が四国山脈に囲まれており、四国カルストを源とする豊かな水と土壤に恵まれた自然の多様性に富んだ地域である。

高齢化や人口減少が進行し、経営耕地面積も減少している危機的状況を打破するため、当時の町役場担当者が視察先の野菜の移動販売に可能性を見出し、産直活動を開始した。活動に専念するため、平成10年に退職し、農家140人で「百姓百品産直組合」を設立。平成18年に生産者を株主とする「百姓百品株式会社」に移行した。

・むらづくり組織の概要

耕作放棄の解消のため、農業生産法人「株式会社百姓百品村」を平成20年に設立し、農地を借り受け、青ネギの自社生産を開始した。農業の担い手確保と障がい者の経済的自立支援のため、就労継続支援B型事業所「株式会社野村福祉園」を平成25年に設立し、農福連携の取組を開始した。「地域の課題を農業で解決する」をミッションに、3つの組織が相互機能を果たしながら、地元住民と共に地域の問題に取り組んでいる。

・むらづくりの取組概要

(1) 農業生産面

- ① 百姓百品株式会社では、地区内に集荷場を複数設置し、松山市内のインショップ等に配送・販売している。組合員数は、農産物だけではなく花きや加工品等の出荷者も加わり400人を超え、小規模農家、高齢者、女性や農協出荷中心の農家の補完的な出荷先となっており、貴重な収入源に繋がっている。
- ② 百姓百品村では、耕作放棄地（約200ほ場、15ha）を借り受け、通年栽培が可能な青ネギを生産し、業務用ネギとして30社との契約取引を行っている。当組織から契約農家として独立した2名のサポートなど生産者の育成にも注力し、新たに基盤整備を行う区域では、2.7haの農地を担い手に集積する予定となっている。
- ③ 野村福祉園では、ネギを主体とした農作業を百姓百品村から受託し、総勢40人程の障がい者が働いており、地区平均の2倍を超える高い工賃を実現している。

(2) 生活・環境整備面

- ① 地元住民一体となった産直事業は、住民の収入増だけではなく生きがいの創出にも繋がっており、加工品の出品は伝統食の継承にも寄与している。
- ② 高齢者や女性が株主になり組織運営に参画する環境や、農福連携による障がい者の活躍の場を創出している。地域おこし協力隊や地元農業大学卒業生等の若手職員を採用し、農村の因習に捕らわれない新しい感覚を地域に持ち込み取組に反映しており、代表取締役への若手女性の登用など世代交代も進んでいる。

・他地域への普及性と今後の発展方向

本取組は、農業を通じて、小規模農家の所得確保、女性・高齢者・障がい者の活躍の場の創出、地域の雇用、耕作放棄地の発生防止に寄与し、地域全体を巻き込みながら活動を展開しており、今後も取組の発展が期待できる。地域の課題を持続可能な事業として体系化し、地域全体で取り組む「ソーシャルビジネス」として展開している本取組は、全国におけるむらづくりのモデル事例になり得るものである。